

## 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 児童発達支援ふおるて

有効回答者数 8名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	一度に10人が活動しているのではなく午前、午後、夕方の三部生になっているので、スペースは問題ないと思われる。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0		余裕のある配置で、常に安心して支援に取り掛かりたいと思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	視覚支援を多く取り入れており、わかりやすい空間になっている。	常に構造化に心掛け、初めての方にも安心してわかりやすいところとなるようにしたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	木材を使用しているので、適宜手入れをしないと棘ができてしまうためメンテナンスをしている。	毎日終了後に確認し、棘など気になった場合は迅速に対応していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	毎回活動ごとに振り返りを行い、よりより支援を目指している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	ご意見をありがたく頂戴し業務改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	毎年集計結果について従業員にお知らせし、今後の取り組みを話し合っている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	第三者による評価はできていない。	アドバイザーの意見を取り入れ改善していきたいと思います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	心理士によるケース相談を月に一回実施している。	積極的に外部研修にも参加し、日常の支援に活かしていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	面談結果や日頃の様子を共有し合い、その子の適した計画作成にこころがけている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	基本は観察で評価しつつ、必要に応じて検査を実施している。	事例検討の際、利用していくようにしたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	時々職員間で確認し合っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	話し合う機会が常にある。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	季節も感じていただけよう工夫している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	必要に応じて個別訓練や発達検査などを実施している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	日ごとに職員が入れ替わるので活動前の共有をととても大事にしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	短時間ではあるが、気づきを共有し、明日の申し送りをしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	必要時、連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	3	保護者の同意の上で、関連施設から連絡があった際には情報共有をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	年長者には「かけはしシート」による情報共有を実施している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5		全員園に通っている児のため、今のところ交流は必要ないと思われる。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3		今後、必要時会議へ参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	常にこころがけている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	1	面談等でアドバイスはできていると思う。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	契約時に丁寧に実施している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	3か月に1回の定期相談と必要に応じて追加の面談を実施している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	年3回は実施している。	保護者同士の連携までには至っていないので、今後は意識していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	その都度迅速に対応させていただいている。	しっかりノートに管理していき職員全員で共有していきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	月に1回通信を発行し、様子を確認させていただいている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	地域の方々とは日頃から挨拶をし合い活動の理解をさせていただいている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	契約時に確認しているが、予防接種については確認なし。	こんごは、予防接種についても声かけしていきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	時々話題に出し忘れることのないように心掛けている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	児童相談所に依頼し研修会を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	2		身体拘束をする場面は、今のところほとんどない。今後、この時々で話し合い決定していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。